

## 給与計算や法定調書作成等のシステムを導入する場合の注意点

TKC 近畿兵庫会 神戸中央支部 税理士 宮崎敦史

- システムに入力したマイナンバーの安全管理機能が高いシステムを選択することが重要なポイントです。

### 1. システムで対応していることが望ましい機能

安全管理を適切に行う上で必要と考えられる機能は以下のとおりです。

- (1) ユーザー管理機能や利用者のパスワード設定で、システムの利用者を限定できること。
- (2) システムへの不正アクセス等ができないように、防護策（マイナンバーの暗号化等により、安全な状態で保存されること）が備わっていること。
- (3) 税・社会保障以外の目的でのマイナンバーの出力（印刷）を制限できる仕組みになっていること。例えば、従業員への再交付のために源泉徴収票を印刷する場合に、マイナンバーを印刷しないように設定できること。
- (4) 退職者やその家族のマイナンバーの廃棄（削除）を、漏れなく実施できる機能が備わっていること。
- (5) マイナンバーに関連する処理（マイナンバーのデータ入力、源泉徴収票などの印刷処理、データの削除など）について、ログ（捜査記録）が自動保存されること。

望ましいシステムとは・・・

- ① ユーザー管理・パスワード設定
- ② 暗号化による保護
- ③ マイナンバーの出力制限
- ④ 不要なマイナンバーの削除機能
- ⑤ ログ（操作記録）の自動保存

上記の機能を備えているシステムを導入するようにしましょう！

(参考資料：『Q&A 中小企業のためのマイナンバー制度実務対応ガイドブック』TKC 出版)